

東谷

農村歌舞伎祇園座公演

第19回

令和6年

4月28日
10時 - 14時半

観覧無料

農村歌舞伎小屋「祇園座」

高松市香川町東谷1550番地平尾八幡神社境内

主催◎ユネスコ未来遺産運動登録団体

香川町農村歌舞伎保存会

―農村歌舞伎祇園座―

香川県高松市香川町東谷に伝わる『農村歌舞伎祇園座』は江戸時代後期の文政年間（1818～1830）に、阿波（徳島県）へ藍染めの出稼ぎに行った若者たちが習ってきた芝居を、地元平尾八幡神社の祭礼に演じたのが始まりと言われていいる。古くから伝わる座名も、下谷地区に歌舞伎をしていた者が多くいたため『下谷歌舞伎』『下谷若連中』と呼ばれていたが、東谷の人々が朝夕拝む祇王山（愛称：ぎおんさん）に因み『祇園座』と改称され今に至る。

■香川県指定無形民俗文化財〔昭和40年〕

■高松市指定有形民俗文化財〔昭和61年〕



未来遺産運動